

折に触れ 四字熟語

NO. 52 『秋天一碧』 しゅうてん いっぺき

< 意味 > ただ青一色の、雲一つない秋空のさま。

語 釈 : 「秋天」は晴れた秋空の意。「一碧」は空や水面が青一色の意。

表 現 : 秋天一碧のすがすがしい天気。

用 例 : 中島敦の小説「李陵」の後半、岩波文庫では42頁に引用されています。

『・・・秋天一碧の下、^{かつかつ}嘎々と^{ひづめ}蹄の音を響かせて草原となく丘陵となく狂気のように馬を駆けさせる。・・・』

一 言 : 秋シリーズその2

東京地方は中心が遠かったとはいえ、台風18号が無事に通過して、まさに「秋天一碧」となりました。四字熟語の簡潔さ、音の心地よいリズムを感じさせる典型だと私は思います。

参考文献 : 三省堂「四字熟語辞典」 岩波文庫「山月記・李陵」